

2020

絵本を届ける運動

2020年度
報告書



なぜ絵本を届けるの？

本を知らないということは、つまり教育を受ける機会がないということ。教育を受けることができないと、安定した仕事に就けず、貧困から抜け出すことができません。学校や図書館などが不足している国では、子どもたちが学ぶ機会を持てないまま、大人になってしまいます。

シャンティは厳しい環境で暮らす子どもたちにも知らない世界を知るドキドキ、時間を忘れて夢中になる楽しさ、たくさんの物語や言葉を知る喜びに出会ってほしいと願い、絵本が不足している地域に日本から絵本を届けています。



「はじめて」の物語

ミャンマーの子どもたちが人生ではじめて絵本に触れた瞬間を映像に収めました。You Tubeでご覧いただけます。



あなたのつくった絵本が届くまで

1 翻訳絵本づくり

ご自宅や職場で、絵本に現地語の翻訳シールを貼っていただきました。

2020年1月～10月
のべ13,755人 370企業・団体が参加
(参加費・募金額：66,947,965円)

毎年の申込期限：10月末まで



2 翻訳絵本を海外へ

絵本はシャンティ東京事務所に集められます。梱包した絵本を運び出すのは年に1回です。

2021年2月9日
シャンティの職員や関係者28名が参加



3 海外事務所に到着

日本から船便や航空便で各国・地域のシャンティ事務所に届きます。船便輸送は日本郵船株式会社様にご協力いただいています。

2021年3月～4月頃到着予定



4 子どもたちの手元へ

- ・移動図書館
- ・おはなしの読み聞かせ
- ・学校や図書館への配架などの活動を通して、絵本が子どもたちへ届きます。

2021年5月以降



シャンティ国際
ボランティア会
Shanti Volunteer Assoc.



40th
anniversary

本の力を、生きる力に

どんな絵本を届けたの？

シャンティが活動を行う国や地域では、実施している活動内容や子どもたちの年齢、文化的背景などに応じて必要な絵本が異なります。毎年届ける絵本は海外事務所から届くテーマやジャンルのリクエストに基づき、児童書の書店員、図書館員、出版社からおすすめの絵本を教えてもらいます。その後、候補タイトルを活動地に送り、最後は子どもたちと日頃接する現地職員が選びます。

からだところ

『けんかのきもち』
文：柴田 愛子 絵：伊藤 秀男
ポプラ社

たいは、なかよしのごうと、すごいいけんかをしました。くやしくて泣きながら家に帰り、みんなが呼びに来てでも、こうたにあやまれても、けんかのきもちはおわりません。友だちと思ひ切りぶつかり合ったあとは、なんだかすっきり。さっきよりも、また少し成長しているはずです。

友だちを大切に思う、両親を敬うなど人や社会との関わり方を学ぶことができる絵本です。

のりもの

『でんしゃでいこう
でんしゃでかえろう』
作・絵：間瀬 なおかた
ひさかたチャイルド

トンネルを抜けると—、どこにいけるのかな？でんしゃにのって「やまのえき」から「うみのえき」まで一緒に旅行に行きましょう。切り抜き穴の向こうには、どんな景色が広がっているのかな？

難民キャンプなど、電車やのりものの種類が多くない国や地域でも絵本を通してのりものの種類を知り、乗る楽しみが広がる絵本です。



2020年度に届けた絵本の一部
(2020年度の実績：42タイトル)



活動地からの様々なリクエスト

- 近年世界で多発する災害により活動現場でも防災意識が高まっているため、防災に関する絵本があると良い
- 環境問題への意識を高めるための絵本が必要
- 教科書だけでは学びが十分ではないので、かがく絵本があると良いなど様々なリクエストが東京事務所に届きます。昨年は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、感染症対策の絵本が求められましたが、良い絵本を見つけることが難しくこのテーマの絵本は継続して探しています。



防災

『あのひのこと—
Remember
March 11, 2011』
文・絵：葉 祥明
佼成出版社

2011年3月11日東日本大震災を経験したある少年。少年の視点でみつめる、津波の恐怖、家族と会えない不安、家族の絆の大切さ。そして、あのひから一年。少年はうみを眺め何を感じるのか？家族の愛や尊さに改めて気づかせてくれる絵本です

東日本大震災は活動国でも大きなニュースとして取り上げられました。震災から10年が経とうとしていますが、その苦しみをどう乗り越え希望を持つことができるのかを教えてくれる絵本です。

環境

『ポリぶくろ、1まい、すてた』
文：ミランダ・ポール 絵：エリザベス・ズーン
訳：藤田千枝
さ・え・ら書房

アイサは、道で見たことのない袋を拾いました。その袋はだんだん町にあふれて、人々を困らせるようになりました。なんとかしなければと考えたアイサは、仲間たちとリサイクルの財布を作ろうと決意します。

実在の女性、アイサ・シーセイの物語を通して環境問題を考えること、そして自分には何ができるのかを考えることができる絵本です。

シャンティ国際ボランティア会は特定公益増進法人の認定を受けています。「絵本を届ける運動」の参加費はご寄付として、税制上の優遇措置（寄附金控除）が受けられます。領収書が必要な方はご連絡ください。

2021年もよろしくお願いします

「絵本を届ける運動」は誰もが気軽に参加できる国際協力の方法です。家族や同僚と一緒に取り組むことができます。みなさんがつくった絵本は海を越え、子どもたちの笑顔につながっています。2021年は「14,902冊」を目標にしています。ぜひご参加をお待ちしております。

毎年の申込期限 10月末まで

2021年のお申込みはこちらから

Q シャンティ 絵本を届ける運動

sva.or.jp/activity/program/ehon



公益社団法人シャンティ国際ボランティア会

Shanti Volunteer Association (SVA)

〒160-0015 東京都新宿区大京町31 慈母会館2・3F

Tel. 03-6457-4585 (「絵本を届ける運動」直通) / 03-5360-1233 (代表)

Fax. 03-5360-1220 E-mail. ehon@sva.or.jp

「絵本を届ける運動」2020年度 活動報告書 2021年3月1日

後援：文部科学省、公益社団法人 日本図書館協会、公益社団法人 読書推進運動協議会

助成：公益財団法人 ベルマーク教育助成財団 | 輸送協力：日本郵船株式会社

写真協力：川畑 嘉文 | イラスト：きよはら えみこ

写真中の絵本：

「ボールのまじゅつし ウィリー」作：アンソニー・ブラウン、訳：久山太市、出版社：評論社

「わたしのワンピース」文・絵：にしまさきやこ、出版社：こぐま社

「うずらちゃんのかたがもの」作：きとももこ、出版社：福音館書店

「どうすればいいのかな？」文：わたなべ しげお、絵：おおとも やすお、出版社：福音館書店

「おきなかぶ」再話：A・トルストイ、訳：内田莉莎子、画：佐藤忠良、出版社：福音館書店

Afghanistan

アフガニスタン ムスカンさん（子ども図書館に通う子ども）

私は2年前から子ども図書館に通っています。図書館では、裁縫・算数・タラナ（詩の朗誦）などを学び、たくさんの絵本に出会いました。図書館はすべての子どもたち、特に貧しい人たちににとって良い場所です。



Cambodia

カンボジア アットさん（シャンティ職員）

シャンティでは、2015年から“遊びを通した学び”のコンセプトのもと教室環境改善や効果的な教授法を普及するための教員研修、図書室を備えたモデル幼稚園の園舎整備等を通じて、幼児教育の質の改善に取り組んできました。2020年度は、コロナウイルス感染拡大の影響もありましたが、4郡に所在する一般幼稚園を含む約50園を対象に絵本を届けることができました。



Laos

ラオス パチュアさん（ブーノーワン小学校の図書館に通う生徒）

サバイディー（こんにちは）。私の名前はパチュアです。好きな科目は算数です。学校の自由時間に図書館に行って絵本を読むのが好きで、お気に入りの絵本は『どうすればいいのかな?』です。将来は看護師になって、病気になった人を助けたいです。



Myanmar

ミャンマー 「おはなし大会」での教育省基礎教育局代表によるスピーチ

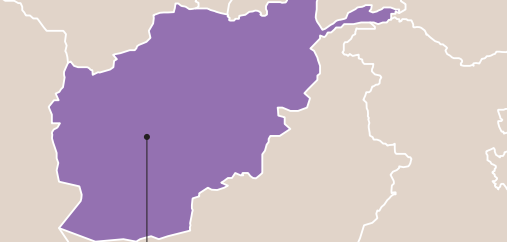
国の発展・発達には教育によってなされるもので、その「教育」は教員や生徒・児童の知識や知見の量によります。その知識を培ったり、知見を広げたりするのに、図書館や本は欠かせません。図書館や本は全ての鍵になるのです。また、おはなしの読み聞かせは対話的な学びの機会であり、学校での日々の活動に取り入れることが大切と考えます。



届いた絵本は

シャンティの教育文化支援活動に
役立てられています

2020年に「絵本を届ける運動」を通じて届けた絵本の冊数



アフガニスタン
(ダリ語)

498冊

絵本タイトル数

42タイトル (17社)

クメール語 ——— 2,311冊
ラオス語 ——— 3,231冊
ダリ語 ——— 498冊
ビルマ語 ——— 7,353冊
カレン語 ——— 3,326冊

合計冊数（2020年度末まで）

16,719冊

ミャンマー（ビルマ語）

5,631冊

ラオス（ラオス語）

3,231冊

カンボジア（クメール語）

2,311冊

ミャンマー（ビルマ）
難民キャンプ

5,048冊

カレン語（3,326冊）
ビルマ語（1,722冊）

日本での参加者数

13,755人（のべ）

370企業・団体

Japan

2020年に「絵本を届ける運動」に参加した方々の声

個人での参加

私は、文字が読み書きできる環境を当たり前と思っていましたが、世界にはそうでない人もいて、不便だけでなく時に命の危険にさらされることがあるということを知りました。「文字が読み書きできる世界を当たり前にしたい」と思い、そのために、ボランティア活動への参加や、世界のことを知る努力をしていきたいです。

企業での参加

作業前に現地の動画を親子で見ましたが、子どもにとっては全く知らなかった国の、自分と同じ子どもたちの現実に、少なからず衝撃を受けたようでした。まず自分と世界の状態を知ること、それから様々な事象に興味を持って子どもの世界を広げてもらったら嬉しいです。その大きなきっかけを与えていただけたと思います。

Myanmar (Burma)

ミャンマー（ビルマ）難民キャンプ ノー・オウスティーナ（メラ難民キャンプ図書館員）

ミャンマー（ビルマ）難民キャンプで運営している図書館は新型コロナウイルス感染拡大により一時閉館をしましたが、現在は、図書館に入る前に非接触型体温計を使用し、手洗い場で手を洗ってから入館してもらっています。その結果、利用者が戻ってきています。



シャンティ国際ボランティア会とは

1981年に設立したアジアを中心に活動する、日本生まれのNGOです。子どもたちへの本を通じた教育文化支援、国内外の災害や紛争後の緊急人道支援を行っています。2020年12月10日で設立40年目を迎えました。1冊の本から希望を見出した子どもたちが、自らの未来を切り拓いてほしい。蒔いてきた本の種から芽が出て、花開きますようにという願いを込めて、団体のロゴシンボルをリニューアルしました。

奇跡の図書館

カンボジアで、ボルボト時代を生き延び、図書館と出会って人生が変わった校長先生の思いを撮影した動画をYouTubeに投稿しています。ぜひご覧ください。



「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に向けて取り組んでいます

シャンティは「目標4.質の高い教育をみんなに」の実現のために活動しています。また、「SDGs」「国際理解」などをテーマに、絵本を作りながら行うワークショップを受け付けています。ご希望の方はウェブサイトよりお申込みください。



これまでに届けた絵本

